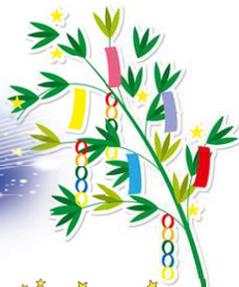




おやこ大学だより

2017年度 4号 (2017. 07. 1) Vol. 74



ごあいさつ

こんにちは。朝から気温もグンぐン上がり、夏本番間近ですね。お元気でしたか？
今月のおたよりは獨協大学周辺で見つけた自然をお届けしますね。

生き物特集

—センター相談室のメダカの赤ちゃんが生まれました—



昨年か飼っているメダカに、赤ちゃんが生まれました。
水草の合間をすいすいと気持ちよさそうに泳ぐ赤ちゃん。
その体はまるで透明人間、かな？
よく目を凝らすとしたいに
「見えた、見えた！あそこにいる！」
センターお近くにいらした際には、
どうぞ見に来て下さいね。



—お散歩コース センター周辺を歩いてみると—

先日、天気の良い朝、獨協大学前駅周辺から大学構内を散策してみました。
駅周辺には、3つほどツバメの巣があるのを発見。どの巣にもえさを待つ子ツバメたちが「まだ足りないよ～」と大きな口を開けています。何度かえさを繰り返し運んでいる親ツバメを足を止めて見上げていると、毎日、子育てに奮闘している皆さんの姿と重なってきました。人間も自然界の親も、子育て中は休む暇がありませんね。
また、次の日、もう一度見に行ってみると子ツバメの姿がありません。巣は空っぽでした。ツバメの巣立ちとは2週間ころから始まり1か月ほどで完全に飛び立つそうです。子育ては期間限定で長いようで短いと感じてしまいました。

—獨協大学内にある小川周辺を散策—

大学内にある、桜の木のトンネルと紫陽花の青々とした葉っぱに囲まれながらお散歩してみると、奥に小川や田んぼがある小さな広場が見えます。そこにも小さな生き物がいて、トンボやカエル、大きな木に頑張っている羽化したばかりのトンボも見ることができました。今の時期、木陰は涼しくて気持ちよかったです。
また、先日は獨協大学経済学部国際環境経済学科の大竹先生と、近隣の草加藤幼稚園の年長さんと一緒に自然観察会を行いました。小川にホタルの幼虫を放流したので、今年も夕暮れになると飛び交う様子を見ることができそうです。



水分補給はこまめに取りましょう

7月は熱中症予防強化月間（環境省）だそうで、子どもから高齢者まで注意が必要な時期になります。屋内、屋外、日中、夜間に関わらず、こまめな水分補給と適度な冷房の使用は大切です。
しかし、注意したいことに「冷房の効いた室内は大丈夫」と思いがちですが、気がついたら熱中症になっていることがあります。冷房の効いた部屋では汗を適度にかくことができず、熱を逃す体の機能が働きにくくなります。また空気も乾燥してくるので、のどが渇いていなくても、こまめに水分をとりましょう。
動いたら汗をかいて熱を逃すという体本来の働きを守るためには、温度設定を27℃～28℃（室内で少し動くときよっと暑いかなと思う）くらいにして、お茶やお水、時々スポーツドリンクなどを取りましょうね。

次回号をお楽しみに



おやこ大学だより、楽しんでいただけましたか？
夏は親子で楽しめるイベントが盛りだくさんですね。
暑さに負けずに！ではなく、体調がなんとなく優れない、疲れがなんとなくたまっているなど、「なんとなく」という体の変化を見逃すことなく夏を楽しみたいですね。
この夏もリーガルサービスセンターは元気に活動しております。
では、次回号までお元気で！



♪獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターからのお知らせ♪

専門相談のお知らせ

- 2017年7月5日（水）14時半～16時半 大谷 良子先生（獨協医大越谷病院子どもこころ診療センター）
- 2017年7月13日（木）10時～13時 池田 暁史先生（文教大学、精神科医・臨床心理士）
- 2017年7月27日（木）13時～15時 井原 正則弁護士（獨協地域と子ども法律事務所）
- 2017年7月28日（金）10時～13時 林 恵津子先生（埼玉県立大学教授、臨床発達心理士）

※ すでに定員一杯でキャンセル待ちとなる場合があります。お問い合わせください。

お問い合わせ・投稿はこちらまで

獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンター

〒340-0041 埼玉県草加市松原1-1-1 O TEL. 048-946-1781 FAX. 048-946-1782

E-Mail: kodomolc@dokkyo.ac.jp

子どもに関する相談（無料）月～金 9時～17時 048-946-1771

※祝祭日はお休み